



北海道

全国初のLGBT応援企業認定

札幌市 同市は今年6月、政令指定都市で初めて少数者（LGBT）のカップルを公的に認可したが、その第2段として10月1日から、「LGBTフレンドリー指標制度」を開始。LGBTへの理解を深めたり差別をなくしたりする活動に積極的な企業を評価、登録証を付与する取り組みで、国内の自治体では初の試み。具体的には、LGBTに関して内規での差別、嫌がらせ禁止の明記や、従業員に対する啓発活動の実施、福利厚生など全7項目を市が評価、5項目以上評価されると最高ランクの「三ツ星」が授与され、市ホームページなどで紹介される。

青森

星野リゾートが冬季営業に注力

十和田市 星野リゾート（本社・長野県軽井沢町。星野佳路社長）は2005年12月同市に「奥入瀬渓流ホテル」を営業する。稼働率の低さから2008年12月から冬季休業を

続けて来たが、施設改装やサービスの充実を踏まえ「採算性あり」と判断、今年12月16日から冬季営業を再開。目玉は「氷瀑の湯」と呼ばれる凍結した滝を臨める露天風呂で、同種の温泉施設は国内初。12月初め頃から露天風呂内の壁面に水を噴霧、時間をかけて造り上げた、いわば芸術品。その他、幻想的な氷柱を楽しむ「冬の奥入瀬ツアー」や「氷瀑スノーシューツアー」「氷瀑ライトアップツアー」など、ウインタースポーツも充実。1泊2食付2名1室利用で1人1万8500円（税・サービス料込み）より。

岩手

大学生が「地産バーガー」発売

盛岡市 9月30日、県立大総合政策学部の学生とJR盛岡駅ビルフエザン（経営母体はJR東日本の子会社・盛岡ターミナルビル。本社・同市。田口信之社長）と、ここに店を構えるカフェ銀河堂1890などが共同で地元食材を使った「銀河堂バーガー」を銀河堂1890で発売。「白」と「黒」の2種を用意、前者は豆腐ハンバーグとレンコンのきん

ぴらを中身にした和風、後者はメンチカツとマスタードソースの洋風で、両者とも同県のブランド肉「白金豚」（ブラチナ・ポーク）も使用。1個400円（税込）。

秋田

将来は、間伐材発電でトマト栽培

大仙市 FIT（電力の固定価格買い取り制度）を背景に近年バイオマス発電事業に注力する廃棄物処理事業のタケエイ（本社・港区。山口仁司社長）が、同市に計画中の木質バイオマス発電建設計画を本格化。9月26日、同社の子会社・秋田グリーン電力（本社・同市。門脇桂孝社長）門脇木材代表取締役は同市と立地協定を正式に締結。

造林・製材事業者・門脇木材（本社・秋田県仙北市）など、地元から排出される間伐材、未利用木材などを燃料に約7050kW（1万5000世帯分）を発電するもので、投資額は約33億円。電力は総て東北電力に売電、年間売上15億円の見込む。同市は将来的にはトマト栽培などにも活用、特産品に育てたい目論見だ。

山形

電動草刈り機の公開実証試験

飯豊町 9月21日、草刈り機や噴霧機、チェーンソーなど屋外作業機械メーカーのやまびこ（本社・東京都青梅市。永尾慶昭社長）は、同町のどんぐん平らより公園で、電動草刈り機の公開実証試験を実施。排ガスなし電動式草刈り機開発の一環で、電池開発には同町の山形大×EV飯豊研究センターが開発に参画。試験には地元農家も協力し使用時間が30分〜1時間程度と短く、蓄電池が重いなど問題点が指摘された。

宮城

環境負荷低減の石炭火力発電所

石巻市 9月1日、同市で建設中だった石巻雲雀野（ひばりの）発電所で火入れ式を開催。同発電所は、バイオマス混焼型石炭火力方式を採用、地元を始め東北地方で排出される間伐材など未利用材や、北米・アジア地域から調達する木質ペレットを最大30%燃料として使用、発電量は149万MW。なお同センターは、



石巻雲雀野発電所(日本製紙)

クン」など)を楽天のドローン「天空」を使って、同店から移動販売車まで運ぶというもの。約2kg以下の商品輸送を想定、山間部など過疎地域での効率的な宅配事業の可能性と安全性を探るのが目的。

栃木

スタンドバイ信用状で海外資金調達

佐野市 9月15日、佐野信用金庫(本店・同市。木村浩理事長)は、大口取引先企業のタイ現地企業に対する融資の手法として、スタンドバイ信用状によるタイ・バンコック銀行からの資金調達を実施すると発表、10月4日から信用状が発行された。同信用状は為替リスクを抑えるメリットがあり、現地の金融機関から現地通貨が供給され、返済も現地通貨でOKなのが魅力。全国信金の「総元締め」、信金中央金庫が信用状を発行、佐野信金が債務保証。同種による資金調達は県内の信金では初。融資先はセメント用紙袋などを製造・販売する葛生製袋工業(本社・同市。坪内法明社長)の現地法人「KSKソラシア」で、総額は300万バーツ(約1000万円)。

福島

楽天とローンがドローン宅配

南相馬市 10月6日、同市でドローンと移動販売車を連携させた宅配サービスの実証試験を10月末から約半年間、週1回限定で展開。ローン(本社・品川区。竹増貞信社長)と楽天(本社・世田谷区。三木谷浩史会長兼社長)のコラボ事業で、同市の「ローソン南相馬小高店」を拠点に移動販売車が週2回、山間部などに出張販売、その際、提供が難しい温度帯のフライものの「からあげ

茨城

市と第一生命が健康増進で提携

つくば市 10月5日、第一生命保

険(本社・千代田区。稲垣精二社長)は、同市と健康増進などに関する包括連携協定を締結。具体的には①健康増進②スポーツ振興③子育て支援・女性の活躍推進④その他地域社会の活性化および市民サービスの向上、での協力で、第一生命のノウハウやネットワークを活用、がん検診の受診啓発活動や市のイベントに共同企画、中小・ベンチャー企業支援も手掛ける。

群馬

清水トンネルが選奨土木遺産に

みなかみ町 9月25日、土木学会

(JSCCE。本部・新宿区。大石久和会長)が選定する「選奨土木遺産」に、同町のJR上越線清水トンネルやループ線など7施設が認定。同トンネルは1931(昭和6)年の完成で、全長9・7kmは当時日本一を誇り、昭和初期の土木技術の高さを今に留めている点(新清水トンネル

千葉

「鴨シー」初の「3世」イルカ

鴨川市 9月21日、同市の鴨川シ

ーワールド(経営母体はグランビスタホテル&リゾート。本社・千代田区。須田貞則社長)でバンドウイルカ「オリノ」がオスの赤ちゃんを無事出産。体長約120cm(推定)、体重約25kg(同)。同館では2013年以来でシーワールド生まれの3世となるが、これは同館初。



バンドウイルカ「オリノ」の赤ちゃん(鴨川シーワールド)

埼玉

秩父鉄道に足袋の切符お目見え

埼玉県 10月8日、秩父鉄道（本社・熊谷市。大谷隆男社長）は、沿線の行田市とコラボ、「足袋のまち」として有名な同市をPRするため足袋を模した1日乗り放題の切符「足袋×たびきつぷ」を企画・発売。

同市内の3駅を始め、熊谷、羽生、秩父各駅などで販売。期間は12月24日まで。土、日、祝日と、11月24日。値段は大人1440円。

東京

屋形船上演が150年ぶりに復活

東京都 10月2日、江戸糸あやつり人形を演じる「結城座」は、幻灯機を光源にガラス絵を映し出す幻想的な「江戸写し絵」を屋形船で約150年ぶりに復活上演。隅田川で披露。360年の歴史を誇る結城座は当日、「風呂」(箱型幻灯機)を最大6台操り、6cm四方のガラス板を装着した「種板」を風呂にセット、これを自由自在に動かして、縦2・5m、横約5mのスクリーンの背後に

投影。演目は「播州皿屋敷」など。

神奈川

藤沢をカレーの新聖地に！

藤沢市 10月24日に、「ふじさわカレー」が20000個限定で販売される。考案したのは藤沢同会議所青年部の有志達で、地元のお土産が少ないことから一念発起、生産量が県内屈指の冬春もののトマトや豚肉を主軸にしたレトルトタイプの「ふじさわカレー」を完成させた。同時期に開催の市民まつりの目玉でもあり、当日は同商工会館で、その後はJR藤沢駅構内にある「湘南FUISAWAコンシェルジュ」などで販売。価格は600円(税込)。

新潟

ハワイから「長門」の旗が帰還

長岡市 10月6日、同市の山本五十六記念館(丸山智館長)は米ハワイ州ホノルル市にあるミズーリ記念館から、旧海軍の戦艦「長門」の軍艦旗が寄贈された。縦約260cm、横約390cmの大きさ。「長門」は1942年まで連合艦隊の旗艦を務

めており、同艦隊司令長官だった山本氏にとっても馴染み深い。

山梨

老舗が英国有名ブランドとコラボ

甲府市 9月29日、地元につながる鹿革工芸品「甲州印伝」の製造、販売の老舗・印伝屋上原勇七(創業・天正10年＝1582年。本社・甲府市。上原重樹社長)は、英国王室御用達の老舗ブランド・アスプレイ(創業1781年)と、ハンドバッグ(150万円)やポシェット(31万円)など3点を共同製作。新商品発表会を開催。印伝屋が得意とする漆を使った鹿革の模様づけ、アスプレイはトレッドマークの格子状デザイン「クロスハッチ」でコラボ。11月中

旬に東京・銀座に開業する「新・サシモトヤマ銀座本店」でも販売。

静岡

水と電気を完全自給自足する家

島田市 10月10日、TOKAIホールディングス(本社・静岡市葵区。鶴田勝彦社長)は傘下の4社と共同で水と電気を完全自給自足できる次世代住宅「OTSハウス」を同市に完成、実証試験を開始。木造2階建ての4LDKで敷地面積約280㎡、延べ床面積約142㎡で、生活用水は雨水を活用、中庭の地中に設置した貯水槽(約1万ℓ)に貯蔵、雨水は浄化して使用、生活水の再利用も目指す。また電力は太陽光発電とエネファーム、定置型燃料電池、EV(電気自動車)のバッテリーを駆使。4人家族の想定で、超高速のネット環境や4Kテレビ放送、顔認証によるセキュリティなどIoTも盛り込む。

長野

諏訪東京理科大が「公立大」に

茅野市 10月10日、同市の諏訪東



発表会に臨んだ印伝屋上原勇七の上原社長(右)とアスプレイ ジャパンの中村之夫社長(印伝屋上原勇七)

京理科大（河村洋学長）が11月に文科省と県から公立大学法人として認可されることが明らかに。京理科大学（本部・新宿区。本山和夫理事長）が設置者変更の認可を同省に、また諏訪広域公立大学事務組合が公立大学法人の大学設立認可を県に現在申請中で、2018年4月には「公立諏訪東京理科大学」として再スタートを切る模様。同大学は1990年開校した短大が前身で2002年に4年制大学となったが、直後から定員割れが続き経営に黄信号が灯っていた。今回の公立化は大学の撤退による地元へのデメリットを避けた自治体のいわばテコ入れ策。既存の機械工学科や経営情報科など4学科制は工学部の情報応用工学科と機械電気工学科の2科体制に圧縮、並行して「地域連携研究開発機構」を新設し、農業・医療介護・健康工学や経営診断などカバリー、産学協同の拠点にする目論見だ。

岐阜

スマホによる新しいコンビニ決済

岐阜市 9月7日、収納代行を手掛ける電算システム（本社・同市）

田中靖哲社長）は、スマホの画面上に表示されたバーコードをコンビニのレジに設置された読み取り機で認識、公共料金や通販の代金支払い時に使う紙の支払票に代わって決済できる画期的なシステム「PAYSEL E（ペイセル）」を開発。ペーパーレス化とレジ作業の効率化を図るもので、9月15日に全国のミニストップ（本社・千葉市美浜区。藤本明裕社長）が導入したのを皮切りにローソンなども2018年に同システムの利用を計画。もちろんコンビニ業界では初。コンビニ決済のパイオニアである同社の技術を応用したもので、利用者はアプリ「PAYSEL E」を自分のスマホにインストールして利用。

愛知

運河に定期水上バスが航行

名古屋市中区 10月8日、同市は市内の中川運河を定期便の水上バス「クルーズ名古屋」が運航開始。実際の運営は東山ガーデン（本社・同市港区。渡辺英二社長）が受け持つ。観光誘致の一環で、中村区の「ささしまライブ」の中川運河堀止〜金城ふ頭（名古屋港）間（約15・7km）を1時間強かけて航行、1932（昭和7）年に同運河は開通したが旅客船の定期運航は初。土日祝日や夏休みなどの限定運行で、堀止〜金城ふ頭は1日3往復、堀止〜ガーデンふ頭は同6往復、堀止発の片道便2便を用意、運賃は500〜1500円。

富山

大学生が竹のアスレチック構築

小矢部市 同市は富山大学（本部・富山市。遠藤俊郎学長）や地元の北蟹谷地域活性化協議会とコラボし竹の有効利用を探る一環で、竹で構築したアスレチックの制作に挑むが、10月9日実証試験を兼ねた遊技場を完成。大学コンソーシアム富山（県内7高等教育機関で結成）が進める事業の一環。

石川

新幹線延伸を商機にした高速バス

加賀市 日本海観光バス（本社・同市。出山尚一社長）は、11月22日に地元・加賀温泉郷〜大阪の高速バスを運行予定。北陸新幹線は202

福井

レッサーパンダの赤ちゃん公開

鯖江市 10月5日、同市の市西山動物園は、今年6月に生まれたレッサーパンダの赤ちゃん「めいしゅん（梅香）」（メス）の一般公開を開始。なお、名づけにはクラウドファンディングで命名権を募集している。



一般公開が始まった「めいしゅん」（市西山動物園）

三 重

産学官で新名物スイーツ完成

鈴鹿市 9月27日、鈴鹿商工会議所などで結成する「SUZUKA産学官交流会」（酒井幸司会長）は同市の新名物を目指したスイーツを制作、発表会を開催。モータースポーツのメッカにちなみ、チェッカーフラッグを髣髴させるサブレや、茶の名産地をアピールするかぶせ茶入りのパウンドケーキの2種。

奈良

近鉄不動産が空き家対策でひと役

広陵町 9月21日、同町は近鉄不動産（本社・大阪市天王寺区。善本

移住及び定住の促進並びに空き家対策に係る連携協力に関する協定締結式



定住・移住、空き家対策協定の締結式に臨む山村吉由（左）と近鉄不動産の善本社長（近鉄不動産）

烈社長）と「定住および定住の促進並びに空き家対策に係る連携協力に関する協定」を締結。同町は高齢化の進行で空き家が目立ち大きな課題に。そこで同社は不動産事業のノウハウを活かし、都市圏からの移住・定住の促進や空き家の有効活用方法などを提案、協力に乗り出したもの。

近鉄沿線でもあるため、地域活性化人口増加は同社にとっても大いにメリットがある。

滋賀

奈良時代の宮殿の柱穴発見か

甲賀市 国史跡に指定されている同市の紫香楽（しがらき）宮跡の近隣にある東山遺跡で、奈良期のものとみられる柱穴が発掘。9月21日市教育機関が公表。一辺約1m四方の柱穴計5カ所、742年（奈良中期）に聖武天皇により建てられたとされる紫香楽宮に関連するものと推定。

京都

「乗合タクシー」が過疎地の足に

宇治市 10月10日、過疎化で悩む

同市で「西小倉のりあいタクシー」の試験運行が開始。4年間に市内3地域で民間バス路線が廃止、それ以降住民の足を確保すべく、地域住民主体の公共交通に対し市が補助を行なう「のりあい交通事業」を推進しており、その一環。運営主体は西小倉自治連合会、年会費10000円のサポート会員約280名を集め運行にこぎ着けた。

大阪

淀川大洪水100周年でサミット

高槻市 1917（大正6）年10月1日に台風で同市を流れる淀川が決壊、多数の死傷者を出した、「淀川大塚切れ」から100年を迎えたことから、淀川流域の自治体の首長が一堂に会し、同市で「淀川サミット」を開催。同市の他、名張市（三重県）、大津市、草津市、守山市、野洲市（以上滋賀県）、京都市、宇治市、亀岡市、八幡市（以上京都府）、大阪市、高槻市、枚方市、寝屋川市（以上大阪府）と、前述の各府県の市長・知事が参加。流域の一層の治水対策と水防災意識の高揚、地域防災力向上への取り組みなどで意見交

換した。

和歌山

工場跡地に津波避難用の小山

新宮市 同市は市内の旧王子製紙跡地（約3万2300㎡。王子ホールディングスが市に譲渡）の一部に津波避難用の築山を造成。9月24日、市民向け見学会を開催。築山は「宮井戸津波避難場所」と名づけられ、高さは約6m。標高7mの地であるため、想定される巨大地震時の津波による浸水深さ最大1mに充分対応で、約12600人が避難可能だと言う。なお造成には2011年に発生した紀伊半島大水害を受けて国が進めて来た近隣の能野川の改修工事で掘削された土砂を使用。

兵庫

大正期の醤油組合建物を再活用

たつの市 10月8日、同市にある大正期建設の醤油組合の建物が新観光名所「醤油の郷 大正ロマン館」としてリニューアルオープン。1915年建築の龍野醤油同業組合の旧醸造工場と1924年建築の旧組合

事務所（いずれも国の登録有形文化財）を中心に、市が敷地を購入し改修。事業費は約1億2000万円。

観光名所案内所や地場産業の醬油、そうめん、皮革製品の紹介コーナーや販売店を設けている。

岡山

ホテル建設地から石垣遺構出土

津山市 9月10日、市教育委員会は、現在発掘調査を進める「新津山国際ホテル」建設予定地で、井戸や石垣が発見されたことから説明会を実施。現場は津山城の「堀の内」に当たる場所で、銅銭や陶磁器片などの遺物も出土。

同市教委は、城下町の整備過程を知るための重要な遺構として調査を進める方針。

広島

市中心部のバス180円均一

広島市 9月28日、広島電鉄（本社・広島市中区。棕田昌夫社長）は、11月1日から同市中心部の路線バスの運賃を一律180円にすると発表。従来は160～240円の8段階だ

ったが、これを全廃、均一にすることで多くの区間では実質値下げとなり利用客増加が見込む。

今後は、路面電車とバスの共通定期券の販売にも乗り出す計画で、利便性アップと割安感で更なる乗客増を目指す。

鳥取

砂丘で「ポケモンGO」イベント

鳥取市 9月29日、同県は人気のスマホ向け位置情報ゲームアプリ「ポケモンGO」の一大イベントを11月24～26日に開催すると発表。同アプリ運営の（株）ポケモン（本社・港区。石原恒和社長）とナイアンティック（本社・米カリフォルニア州サンフランシスコ。ジョン・ハケCEO）の全面協力で、鳥取砂丘を舞台に繰り広げられる。

なお、県は昨年7月、広大な砂丘を活かしゲームを安全に楽しめる「スマホ・ゲーム解放区」を宣言。同イベントはここで展開される模様で、日本ではばり入手不可能なポケモンが出現するスポットを用意する他、県産の食材を使用した料理も提供されると言う。

島根

生姜をふんだんに使った大福

出雲市 10月1日、生姜加工品販売の出雲生姜屋（本社・同市。南浩二代表）は、地元斐川地区生産の生姜を使った、「じんじゃ〜大福」を制作、出雲空港内売店などで発売を開始。原料の出雲生姜は、完全無農薬で自社栽培されたもので、すでにジンジャーエールやキャンディーを商品化。ネット購入も可能で、黒あん、白あんの2種を用意。価格は180円。



「じんじゃ〜大福」（出雲生姜屋）

山口

「センザキッチン」オープン

長門市 10月7日、同市に農産物販売店やレストランを併設した交流拠点施設「センザキッチン」がオープン。地名の「仙崎」と「キッチン」を組み合わせた名称で、総工費は約6億円。建設資材の3分の2は地元杉で「森にきたような雰囲気」を演出。「食べる、つなぐ、遊ぶ」をコンセプトに人との交流や情報発信の場を育てる模様で、情報発信・休憩コーナーでは専門スタッフ「長門コンシェルジュ」を配置。来年4月までに駐車場や情報発信施設も整備し、同市初となる道の駅とする。



「センザキッチン」（センザキッチン）

香川

今治造船が17年ぶりに新ドック

丸亀市 9月19日、造船最大手の今治造船（本社・今治市・檜垣俊幸グループ社主）は、同市にある同社の丸亀事業本部（造船所）内に構築していた超巨大な「丸亀新ドック」をこのほど完成、竣工式を実施。なお大型ドックが国内で新設されるの



「丸亀新ドック」（今治造船）

は17年ぶりのこと。ドック長は610mを誇り、大型船2隻を同時に建造できる他、世界的に受注が伸びている全長400m超の「メガコンテナ」の造船にも対応。同拠点を設計・開発から建造までこなす一大拠点に据える模様で、激しさを増す中国・韓国の巨大造船所に対抗する目算。

愛媛

スマホゲーム用デバッグの新拠点

松山市 10月4日、ソフトウェアのデバッグ・検証を事業とするデジタルハーツ（本社・新宿区・玉塚元一社長）は、主にスマホ向けゲームの動作を確認する拠点を同市に新設すると発表。同社にとって中国地方で初の拠点。都市部でのICT関連の人手不足に対応、地方での潜在的な能力を持つ人材の登用を目指す。進出初年度は、アルバイトを中心に2000人を新規採用し、正社員を含め280人規模にする計画。

徳島

「木頭ゆず」地理的表示保護に登録

那賀町 9月15日、農水省は「地

理的表示保護制度（GI）」の対象として、同町の特産品「木頭ゆず」の登録を決定。同県特産品の登録は初めての快挙。

「木頭ゆず」の外観が美しいことや果汁の多さ、香りのよさが評価された。同制度は、国が地域の農林水産物や食品をブランドとして保護するもので、他県産のゆずと差別化が図れる他、GIを重視するEU圏への輸出促進が期待される。

高知

地方創生で伊藤園と協定締結

高知県 10月5日、同県と伊藤園（本社・渋谷区・本庄大介社長）は「地方創生の推進に向けた連携と協力に関する協定」を締結。同社が都道府県と同様の協定を結ぶのは初めて。

地元の名産である生姜やゆずを使用した商品を開発、PRする他、災害時には同社の自販機内の飲料製品を無償提供するなど協力。10月23日からは、同県産生姜汁を100%使用した、ジンジャーエール「JIN Ginger」の発売も決定。価格は450mlで140円。

福岡

JR西日本、九州初のホテル進出

福岡市 9月20日、JR西日本本社・大阪市北区。来島達夫社長）は、グループ会社運営のホテル「ヴィアイン」を同市に進出させる発表。同社にとって九州でのホテル事業は初。客室数は約200室、宿泊料金はシングル約9000円を予定。自社運行の山陽新幹線を利用する出張客の宿泊や、訪日外国人の増加への対応で利用客の取り込みを図る方針。

佐賀

「空飛ぶ医師団」が始動

佐賀市 9月28日、NPO法人のアジアパシフィックアライアンス・ジャパン（AIPAD）ジャパン。本部・同市。大西健丞代表理事）は、佐賀空港を拠点に活動する「空飛ぶ医師団」に配備された専用航空機のお披露目式を開催。

「空飛ぶ医師団」は、民間のレスキュー隊と医師、看護師が連携し、被災地や紛争後の地域で救命活動を行なう国際的な団体。配備された航

空機の航続距離は3000kmで、佐賀空港からセブ島まで無給油で移動が可能。

長崎

長崎くんちの切手販売

長崎市 9月19日、日本郵便九州支社（熊本市）は、長崎くんちのPRや観光客誘致を狙い、演し物や傘鉾の写真を使った「長崎くんちフレーム切手」の発売を開始。長崎くんちの写真つき切手の発売は初。

同祭は、奉納踊が国指定重要無形民俗文化財にも指定され、歴史ある鎮西大社諏訪神社の祭礼行事。同市内約140カ所の郵便局で購入可能。販売価格は82円切手1シート（10枚）で1300円。



「長崎くんちフレーム切手」（日本郵便）

大分

「ロケしたいまち」1位に輝く

中津市 9月7日、同市は「全国ふるさと甲子園」の「ロケしたいまちナンバー1」部門で1位に輝いた。

映像業界関係者210人の投票で選出されたもので、現地担当者の対応のよさの他、景勝地の耶馬溪や、中津城、羅漢寺など、ロケに適した歴史的建造物の多さが評価された。

同市は実際、2016年に公開された映画『サバイボマスク』や、NTT西日本のCM、NHKの番組「鶴瓶の家族に乾杯」などのロケ地にも採用されている。

熊本

空港民営化に向け企業連合

熊本市 9月14日、九州産業交通ホールディングス（本社・熊本市中央区。矢田素史社長）や九州電力（本社・福岡市中央区。貫正義社長）は、熊本空港民営化に向けた地元企業連合の設立を発表。

両社はターミナルビルを運営する第三セクター「熊本空港ビルディン

グ」の株主で、地元企業による企業連合を組織した上で、国内外の大手資本との連携を目指す。なお国は2020年をめどに同空港の民営化を実施する計画。

宮崎

旧橋ホテル跡地が観光拠点へ

宮崎市 9月14日、同市は青島の旧橋ホテル跡地（同市青島）の利用について、IT企業のアラタナ（本社・同市。濱渦伸次社長）の関連会社「青島プロジェクト」を、再開発事業の優先交渉権者に決定したと発表。

施設名は「青島ビーチヴィレッジ」とし、コテージやレストラン、シェアオフィス、温泉など5施設を併設。総事業費は約12億5000万円、2019年の開業を目指す。

鹿児島

コンベンション施設の事業者選定

川内市 10月4日、同市はJR川内駅東口に新築予定のコンベンションホールの建設、運営を行なう優先交渉権者を、コンサルタント企業会

社の鹿児島ディベロップメント（本社・同市。田中正治社長）を代表とする企業グループに決定したと発表。施設は1000人規模のホールにホテルや商業施設を併設。建設費は約37億円。2020年7月の開業を目指す。

沖縄

沖縄電、新電力へ卸販売開始

浦添市 9月29日、沖縄電力（本社・那覇市。石嶺伝一郎社長）は2018年4月から電力の卸販売を開始すると、経産省の電力・ガス取引監視等委員会制度設計専門会合で報告。同県は全国の送配電網と接続していないため電源確保は至上命題。県最大の電力会社である同社が卸販売に乗り出すことで、電気料金値下がり期待される。

なお、昨年の電力自由化政策に伴う動きで、すでに沖縄では新電力のイーレックス（本社・中央区。本名均社長）と、県最大のガス供給会社、沖縄ガス（本社・那覇市。我那覇力蔵社長）がタッグを組み、同地に新電力会社「沖縄ガスニューパワー」を設立している。